平成23年5月13日

各 位

上場会社名　日本電計株式会社
代表者　代表取締役社長 武蔵　信義
（コード番号　9908）
問合せ先責任者　代表取締役専務 佐藤　信介
（TEL　03-3251-5731）

配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年５月13日開催の取締役会において、平成23年３月期の年間配当金の予想について、下記のとおり修正することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当予想修正の理由

配当金につきましては、業績、財務状況等を総合的に勘案し、継続かつ安定的な配当を行なうことを基本方針としております。

平成23年３月期につきましては、復活のスタートの期と位置付け、業績回復に最大限の努力を傾注してまいりました。当期は、アジアを中心とした新興国の景気回復、国内での景気対策効果、輸出の回復等により景気回復の動きが見られました。また、政府によるエコカー減税・補助金支給やエコポイント等の景気対策効果もあり、全般的に回復基調となりました。

当社グループが属する電子計測器および関連業界におきましては、薄型テレビや3Dテレビを中心としたデジタル家電業界とエコカーの減税・補助金による需要喚起効果が奏功した自動車業界で需要回復の動きが見られました他、リチウムイオン電池等の新エネルギー関連で研究開発や設備投資が積極化いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、成長著しいアジアの新興国の営業拠点と国内の幅広い営業拠点網を活用して、デジタル家電関連ユーザー、自動車関連ユーザー、環境試験関連ユーザーやリチウムイオン電池等の新エネルギー関連ユーザーのニーズを捉え、積極的なソリューション営業活動を展開いたしました。

さらに、損益面では、粗利益率が改善したことや前々期から取り組んでおります経費節減を引き続き徹底いたしました。

なお、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災については、2、3の営業所で修理が必要な程度の軽微な被害にとどまりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は64,805百万円（前年同期比24.6%増）、連結営業利益は1,199百万円（前年同期は、294百万円の営業損失）、連結経常利益は1,129百万円（前年同期は295百万円の経常損失）、連結当期純利益は795百万円（前年同期は830百万円の当期純損失）となり、当初計画を大幅に上回る業績回復を達成することができました。

加えて、平成22年9月4日をもちまして、創立60周年を無事迎えられましたことは、ひとえに株主の皆様の永年にわたるご支援の賜物であります。株主の皆様に感謝の意を表し、日頃のご支援にお応えすべく、中間配当で、7円（普通配当5円、記念配当2円）を実施しましたが、期末の配当につきましては、「5円」増配し普通配当を「15円」とし、当期の配当予想を年間「22円」に修正するものであります。

今後とも、業績の動向や利益の推移を総合的に勘案の上、株主の皆様への積極的な利益還元に努める所存です。

2. 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想（平成22年11月12日発表）	―	7.00	―	10.00	17.00
今回修正予想	―	―	―	15.00	22.00
当期実績	―	7.00	―		
前期実績（平成22年3月期）	―	5.00	―	5.00	10.00

以 上